

EFEL 臨時總會議事録

1 日時： 2023年8月5日（土） 午前10—12時（日本時間）

2 開催方式： オンライン（zoom）

3 参加者： 以下ご参照

2023年8月5日

○：参加、△：早退、▽：遅れて参加、

No.	氏名	卒業年度	所属セクション	経験業種/職種	現住所	総会	EFEL役職等
1	越智恵子	1969	会話	塾経営	兵庫	○	年代別実行委員
2	南村栄一	1972	政経	電機	大阪	○	元副会長
3	中村秀二	1973	文学	教員/塾経営	熊本	○	外大同窓会九州支部長
4	重成美雪	1975	社会学	教員	北海道	○	新副会長（財務会計）
5	北尾妙子	1975	ディスカッション	教員	千葉	○	
6	柿崎紀明	1978	政経	電機	神奈川	○	年代別実行委員
7	水野明洋	1978	政経/ディスカッション	自動車/旅行	東京	○	会長
8	姜 泳禎	1978	ディスカッション	証券・サービス・人材紹介	東京	○	
9	野々山浩代	1981	ディスカッション	グローバル・ビジネス・アドバイザー	カリフォルニア	○	アメリカBLリーダー
10	山下純一	1982	ディスカッション	小売業	東京	▽	新年代別実行委員
11	細川幸治	1983	ディスカッション	金融	ニュージャージー	○	副会長（現財務会計）
12	藤澤リエ	1983	政経	情報通信	神奈川	○	実行委員（現財務会計）
13	丸谷一也	1985	ディスカッション	電機/モーター/医療	大阪	○	副会長（広報）
14	仙台謙三	1989	ディスカッション	議員	石川	○	北陸BLリーダー
15	遠藤秀剛	1990	ディスカッション	電機	新潟	△	副会長（事務局）早退
16	長嶋俊樹	1990	歴史	機械製造（海外業務）	大阪	△	年代別実行委員 早退
17	国吉正幸	1992	スピーチ	商社	イリノイ（シカゴ）	○	
18	野崎泰弘	1995	World Studying	製造	オハイオ	○	
19	与十田将也	1997	ディスカッション	教員	兵庫	○	実行委員（事務局）
20	川原アーサー	2000	ディスカッション	弁護士	カリフォルニア	○	
21	森山翔太	2012	ガイド	運輸（国際物流）	ベトナム	○	新年代別実行委員
22	長森好美	2023	スピーチ	小売業（化粧品）	埼玉	○	
23	川鶴祐子	---	ディスカッション	歌手	岐阜	△	早退
計						23名	

4 議決事項

- (1) 副会長人事 賛成 23 人 反対 0 人 可決
- (2) 予算年度変更 賛成 23 人 反対 0 人 可決
- (3) 2022年度事業報告
- (4) 2022年度決算報告
- (5) 2022年度監査報告 (3) ~ (5) 賛成 23 人 反対 0 人 可決
- (6) 2023 - 24年度事業計画全般
- (7) 2023 - 24年度活動推進、広報
- (8) 2023 - 24年度予算計画 (6) ~ (8) 賛成 23 人 反対 0 人 可決
- (9) EFEL 基金運営委員
- (10) 会則改定 (9) ~ (10) 賛成 23 人 反対 0 人 可決

5 議事の経過及び発言要旨

- (1) 開会
- (2) 議長選出 水野明洋さん
- (3) 議事

議題：

1) 副会長人事

水野会長から以下の人事並びに役職名変更が説明されました。

長嶋さんから重成さんの後任の選出はいつ行われるのかと質問あり、水野会長から来年任期完了前に重成さんに継続してもらうか又は新しい人をお願いするかを決めますとの回答。

人事、役職名変更に関する全員一致の賛同を得られました。

遠藤さん、藤澤さんの退任に際しご挨拶を頂きました。

副会長人事/役職名変更 (敬称略)

旧役職名	変更内容	新役職名
① 事務局担当 副会長 遠藤 秀剛 ② 財務会計担当 副会長 細川 幸治 ③ 広報担当 副会長 丸谷 一也	① 役職名/担当者 ② 担当者 ③ 役職名	① 企画・総務担当 副会長 細川 幸治 ② 財務会計担当 副会長 重成 美雪 (任期:23年8月~24年9月) ③ 活動推進・広報担当 副会長 丸谷 一也

(ご参考)【EFEL会則 第6条 (役員)】

本会は、次の役員をおき役員会を構成する。役員は全て総会で選出し、その任期は2年とし再任は妨げない。
欠員補充によって就任した役員は、前任者の残余期間とする。

(注) **財務会計実行委員 藤澤リ工：**

アメリカ在住 細川副会長の異動に伴い、日本側での通帳管理サポートが不要となるため退任。

	新役職名	(変更背景) 業務内容・分担の明確化で効率運営
①	企画・総務担当	親睦を深める活動企画提案/名簿・活動・運営・各種スケジュール管理など
②	活動推進・広報担当	全体活動推進・運営とHP・SNSの有効活用等による各種情報発信

4/47

2) 予算年度変更

水野会長より以下の予算年度変更の説明をしました。

「今年度は、本年の9月末までの6か月間となり、10月1日より新年度を開始する。

EFEL会の総会の開催時を8月に変更し、外大祭ホームカミングの際の10月末には懇親並びに現役のESS部員との懇親に時間をもっと割けるような形にしたい。」

長嶋さんより、現役生のドラマの片付けのため懇親会への参加が遅れたと聞いておりますが、今年はどうですか？という質問ありました。

水野会長より、昨年はコロナ禍で大学側からもドラマの片づけスタッフの人数制限もあり片づけに時間がかかり懇親会への参加が遅れたが、今年は人数制限ないと思いますので大丈夫かと思えます。今後、現役生と調整を行っていきますとの説明がありました。

その後、参加者全員による年度の変更並びに総会の開催変更についての一同賛同が確認されました。

予算年度(期間)見直し提案

※現行予算年度(期間)の問題点

- ①3月に前年度の決算が終了しているにもかかわらず、7月ケ後の10月末開催総会で審議。
- ②新しい年度が4月よりスタートしているのに、事業計画は7月ケ後の10月末に総会で審議。

※新予算年度(期間)の提案

- ①新期間は10月～翌年9月として、毎年10月末に前年度の決算報告を行う。
但し、8月頃にオンライン総会を行い、前年度事業結果及び新年度の事業計画を報告する。

年度	予算期間 (活動計画期間)	総会時期 (活動計画承認タイミング)	備考
2022年度	'22年4月～'23年3月(12ヶ月)	'22年10月28日(土)	対面/オンライン総会
2023年度	'23年4月～'23年9月(6ヶ月)	'23年 8月5日(土)	オンライン臨時総会
2024年度	'23年10月～'24年9月(12ヶ月)	'23年10月28日(土)	対面/オンライン総会
2025年度	'24年10月～'25年9月(12ヶ月)	'24年 8月頃	オンライン総会
2025年度	'24年10月～'25年9月(12ヶ月)	'24年10月26日(土)	対面決算報告会

過渡期
措置

新期間

7/47

3) 2022年度事業報告

水野会長より、以下の活動報告がなされました。

2022年度 振り返り - OBOG向け

広報掲載情報の質向上は出来たが、会員拡大が課題

領域	評価	目標	目的・アクション
活動	◎ △ ○ ◎ ○	①広報対象領域 拡大と掲載情報の質向上 ②会員拡大と財政強化 ③各地区(ブロック)/年代別 交流会・懇親会 ④外大同窓会 九州/北陸支部設立総会に合わせたEFEL懇親会サポート。 ⑥イベント全般	①OBOGへの活動理解促進の為。 ②EFEL活動 賛同者増による展開。 ③OBOG間のコミュニケーション促進。(Zoom利用) ④九州：22年9月24日開催 会員10名参加 北陸：23年7月 9日開催 会員10名参加 ⑥コロナの為、当面オンライン開催。 収束次第、対面活動復活。 交通費、時間などの節約の為、対面式が復活しても並行継続。
システム	○	①Zoomアカウント：会員に開示し利用促進	①OBOGのコミュニケーション促進の為
パンフ	○	①歴代パンフHP掲載とESSでの保管	①【HP】PDF版 ②【ESS部室】原本保管 HP未掲載歴代パンフ14冊分

10/47

母校と連携した留学生への支援スタート

領域	評価	目標	目的・アクション
支援	△	オンラインでの 就職・海外勤務 相談会	現役生の就職・海外勤務に関する不安・疑問などに応える為。 22年3月開催、23年度未開催
支援	◎	第55回谷本杯争奪全日本学生英語弁論大会運営サポート及びスピーチ指導	伝統ある全国レベル大会の継続 スピーチ指導は現役生の要望に基づき実施。
システム	○	HPに『 現役生へのエール 』 コーナー	現役生への就活サポートの為。 22年3月・23年4月投稿、23年度 投稿無し
活動	◎	アメリカ留学中の母校学生との座談会	より良い留学生活が出来る様に 国際交流部との連携で、アメリカブロックと日本側の留学経験者の協力を得て実施。 22年5月、22年10月 開催

11/47

現役ESS活動支援

【事務局領域】

現役生からの要望に基づき、英語弁論大会サポート



◆英語弁論大会スピーチ指導

2022年12月4日開催『第55回谷本杯争奪全日本学生英語弁論大会』
※現役生の要望に基づき、10月3日よりスピーチ教室スタート

【指導者】 杉本洋之（1979年卒） / 田坪紀美（1984年卒）

◆第55回谷本杯争奪全日本学生英語弁論大会結果

伝統あるこの大会には全国の大学から多数の応募があり、書類選考の結果、上智・立教・関西学院等の強豪校8名が残り、関西外大ESSからは2名参加。

関西外大ESSの長森好美さん(4回生)が見事に3位入賞！



◆EFEL基金

『谷本杯争奪全日本学生英語弁論大会』は、関西外大の創立者である谷本さんの名前を冠として使わせて頂いており、全国レベルの伝統ある英語弁論大会を継続させる為に**EFEL基金より、3万円支援**。

[支援金] 上位1～3位までのトロフィー・プライズクオカード代金 として充当。

12/47

その後、広報担当副会長丸谷さんから広報活動の以下の説明がなされました。また、具体的なホームページの変更点、改善点についての更なる追加説明がなされました。

そして、その結果としての閲覧数の増加、閲覧者の地理的分布等の説明がなされました。

① HP項目 **領域・情報・質**の向上を目的として、**HPリニューアル**を実施。
興味・関心を引き易いコンテンツ・構成に変更。

同時に、最低限の更新であれば**外注不要**にし、**経費負担を軽減**。

② 将来の活動活性化の礎とする為、**諸活動の更なる見える化**に着手。
(例) **地域ブロック活動記事**など

③ **新企画**の**歴代部長インタビュー**記事掲載など**投稿カテゴリー増**による
※ **活動への興味・関心幅拡大**

その後、事務局領域として水野会長より以下の2022年度の活動の説明がなされた。

コロナ感染 制限下の上期はオンライン開催
総会・懇親会（現役生交流会）は3年ぶりに対面で開催

総会・委員会・他イベント	日時(日本時間)	開催方式	場所
① 役員・実行委員オンライン交流会	22年 6月18日、12月10日	オンライン	各自宅
② 役員・実行委員会	22年 8月27日(土) 10:00-12:00	オンライン	各自宅
③ 総会	22年10月29日(土) 15:00-17:30	対面/オンライン	外大/各自宅
④ 懇親会(現役生交流会)	同 18:40-20:45	対面	がんこ枚方店
⑤ ESSドラマ上演	22年10月28日(金)/29日(土)	対面	外大
⑥ 第55回谷本杯争奪 全日本学生英語弁論大会	22年12月4日(日)	オンラインのみ	各自宅

◆役員・実行委員オンライン交流会 (ZOOMにて)

【目的】 EFEL活動活性化の為、役員・実行委員(地区/年代別)間で気軽に議論、同時にメンバー間の深交を図る。

【課題】上記目的で21年度から4回開催したが、参加者が限定され人数も少なくなってきた。

実行委員の皆さんから直接の声を聞く為に、何らかの対応が必要。

コロナ制限下ではオンライン開催中心、海外在住メンバー含めてのべ163名参加

地域	イベント種類	開催日	備考
【九州】	懇親会	22年9月24日	外大同窓会 九州支部設立総会後の二次会で懇親会開催 10名参加
【アメリカ】@LA 【全ブロック】	懇親会 新年会	22年7月29日/30日 23年1月28日	創設来 初の対面懇親会 12名参加 海外含めて30名参加
年代など	イベント種類	開催日	備考
創成期 年代別 1980/90年代 アメリカ在住者 +役員	懇親会 懇親会【全地域】 懇親会 懇親会【アメリカ】	22年4月23日 22年8月27日 22年9月25日 22年4月24日 ~23年2月12日	10名 14名 6名 4月24日(8名) 6月26日(7名)、8月21日(8名) 10月23日(9名)、12月11日(9名) 【23年】2月12日(10名)
2010-12卒	懇親会	23年3月25日	30名

22/47

アメリカブロック設立懇親会

【事務局領域】

アメリカブロック 創設来 初の対面 懇親会 をLAにて開催！

※'20年12月 アメリカブロック設立来、コロナ禍の中で対面交流出来ず。2ヶ月に1回 日米でオンライン交流会開催して来ました。

【'22年7月29~30日】



内容

アメリカブロック設立懇親会 及び オレゴン州Portland State University留学中の現役生 長森さん歓迎会を兼ね開催。

29日：LA郊外のトランスで夕食会、カラオケ

30日：レーガン大統領記念館見学の後、(ブロッカーター)野々山さん宅にてBBQパーティー。



◆参加者 代表者からの声

野々山浩代さん：「皆さんの健康と安全に最も気を配りました。対面で初めてお会いする人、40数年ぶりに再会できた人、昔話に花が咲き感極まる懇親会となりました」

細川幸治さん：「対面での懇親会はZoom で味わえない温かさ、人柄、その人の優しさ、そしてオーラが感じられたと思います」

全12名 (敬称略・順不同)

参加者	*アメリカ在住メンバーの野々山浩代 & [パートナー] Henry	1981年卒	参加者	*亀田真二・友紀子夫妻	1989卒・1990卒
	*細川幸治と[三男]裕貴	1983年卒		*国吉正幸夫妻	1992年卒
	*フィッシャー <旧姓：速水> 敦子夫妻	1979年卒		*日本在住の杉本洋之	1979年卒
				*現役留学生の長森好美	4回生

23/47

4) 2022年度決算報告

財務担当の細川より以下の2022年度 EFEL 会費、寄付、並びに基金の決算報告がなされ、質問は何もありませんでした。

‘22年度 年会費 及び 寄付金 収支報告 【財務会計領域】

自 2022年4月 至 2023年3月

収入の部				(金額単位:円)
科目	今年度 予算額	今年度 実績	対予算	備考
会費収入	100,000	96,055	-3,945	
寄付金収入	10,000	71,356	61,356	総会後の懇親会でPR結果、参加者からご理解頂き、予定以上の寄付金を頂く。下記に会費納入者及び寄付者のリストを掲載しています。
金利収入	0	2	2	
収入の部 合計	110,000	167,413	57,413	
支出の部				
事務用品費	1,000		-1,000	
交通費	5,000	1,980	-3,020	総会会場下見に伴う交通費一人分 (八尾⇄関西外大)
通信費	2,000	2,289	289	監査関係書類等の郵送料 (郵貯から支払い) パンフ送付費用934円、会計監査のための書類送付費用210円を含む
ホームページ アップデート費	0	0		広報担当役員でHPリニューアルした為、特に請求なし
Zoom費	23,000	22,100	-900	2023年分(1~12月)のZoom プロ代金
サーバ費 料(2022, 2023年分)	8,000	7,920	-80	昨年分は田中さんが立替えて、EFEL会に請求してませんでしたので、 本年度分(1~12月)と合わせて2年分を支払っております
会議費	1,100	0	-1,100	オンラインにて監査対応した為、発生0
振込手数料	660	630	-30	
卒業生への贈呈	0	5,000	5,000	新規企画として卒業生と現役生の『ご飯会』時に贈呈
その他	240	0	-240	
特別プロジェクト ESS歴代パンフ	9,000	0	-9,000	ESS部室での歴代パンフ保管用箱→本欄に収まったので発生0 歴代パンフHP掲載追加分予定していたが、発生0
支出の部 合計	50,000	39,919	-10,081	
純収支合計				
純収入	60,000	127,494	67,494	
	次期繰越金	127,494		

＜監査結果＞

左記、収支計算書につき、会計基準に則りその使途に関して適正に処理されているものと認めました。

(監査役) 田坪紀美
杉本洋之

＜寄付金内訳＞

中塚裕己様	10,000
川躰祐子様	1,000
水野明洋様	12,000
田坪宏文・紀美様	10,000
親睦会参加者様	16,234
山下純一様	11,000
野々山浩代様	11,113
合計	71,356円

‘22年度 EFEL基金 収支報告

自 2022年4月 至 2023年3月

(金額単位:円)

年月日	内容	収入	支出	差引残高	備考
2022/4/28	21年度 外国語大学弁論大会 奨励金(3位)		5,000	257,182	
2022/4/19	現金書留封筒代金		21	257,161	
2022/4/19	書留郵送料金		519	256,642	
2022/4/19	硬貨入金手数料金		220	256,422	郵貯口座からの硬貨入金手数料(2回分)
2022/5/9	長嶋俊樹様お	3,000		259,422	
2022/6/15	田坪宏文・紀美様お	5,000		264,422	
2022/6/27	森田浩二様お	10,000		274,422	
2022/8/22	普通預金利息	1		274,423	
2022/10/5	水野明洋様お	10,000		284,423	
2022/12/29	ESSへの援助金		35,000	249,423	運営費30,000円及び谷本杯3位入賞奨励金5,000円
2022/12/29	援助金手渡しのための交通費		1,980	247,443	
2022/12/29	目録封筒		913	246,530	830円及び税金83円
2022/12/29	振込手数料		440	246,090	
2023/2/20			1	246,091	
	今期収支合計	28,002	44,093		
	増減		-16,091		
	期首残高			262,182	
	期末残高			246,091	

＜監査結果＞

左記、EFEL基金 収支計算書につき、会計基準に則りその使途に関して適正に処理されているものと認めました。

(監査役) 田坪紀美
杉本洋之

5) 2022年度監査報告

監査役に代わり、細川財務担当より監査結果の報告があり、正しく財務会計処理が行われているとの報告をした後、参加者全員の賛同を得られました。

6) 2023-24年度事業計画全般

水野会長より以下の今年度、次年度の事業計画の全般の説明が行われました。

2023/4年度 展開活動 - OBOG向け

アクティブな会員拡大・母校と連携した更なる現役生への支援

	目標	目的・アクション
新規	① 広報対象領域 拡大と掲載情報の質向上 インタビューメンバー拡大 23年2月スタート	① OBOGへの活動理解促進の為、 ESSの役員を経験された方にインタビュー
新規	② アクティブ会員拡大と財政強化	② EFEL活動 参画者増による展開
一部 新規	③ 各地区(ブロック)別/年代別交流会・懇親会 職業別懇親会	③ OBOG間のコミュニケーション促進。(オンライン) まずは教員関係者の懇親会トライ (オンライン)
継続	④ 外大同窓会 各支部総会/懇親会に連携して EFEL会員が参画	④ 北陸支部設立総会参加 '23年7月 EFEL10名 各支部総会/懇親会参加の積極的なPR
一部 新規	⑤ イベント全般	⑤ 対面活動復活(興味・趣味を主体とした交流会) 交通費、時間などの節約の為、オンライン並行継続
継続	⑥ Zoomアカウント: 会員に開示し利用促進	⑥ OBOGのコミュニケーション促進の為
新規	⑦ 定期的なEFEL情報発信	⑦ メールによるEFEL通信発行(メルマガ)

29/47

2023/4年度 展開活動 - ESS現役生向け

アクティブ会員拡大・母校と連携した更なる現役生への支援

	目標	目的・アクション
継続	オンラインでの就職・海外勤務 相談会	現役生の就職・海外勤務に関する不安・疑問などに 応える為
継続	第56回谷本杯争奪全日本学生 英語弁論大会【11/26(日)】 運営サポート及びスピーチ指導	伝統ある全国レベル大会の継続 スピーチ指導は現役生の要望に基づき実施 【先行配布版からの変更】 ※谷本杯日程確定: 11/26(日) スピーカー(対面) オーディエンス(対面+オンライン) で検討中。
継続	HPに『現役生へのエール』コーナー	現役生への就活サポートの為
継続 新規	① アメリカ留学中の母校学生 (ESSメンバー含む)との座談会・講演会 ② EFEL活動理解促進	① より良い留学生活が出来る様に、 国際交流部と連携で、アメリカブロック及び 日本側の留学経験者の協力を得て実施。 ② ESS役員メンバーとのインタビュー記事掲載

30/47

その後、細川新企画総務から EFEL 会の新たな以下の活動予定の説明がなされました。

会員にとって価値ある活動を創造し、会員登録の継続更なる会員参画を促進する。

	価値ある活動の創造・促進	方法など	新規活動
1	会員への活動参加促進要請	Line、Facebook、EFEL会HP、オンライン交流会、懇親会を通じ	<EFEL通信発行> 相互コミュニケーション活発化し、会員にとっての価値の創造を図る。
2	年代別、ブロック別実行委員の積極的活動、参加促進	① 同年卒業＋上下2回生の知人、旧友に積極的にリーチアウトし、交流会への参加を促す。 ② メール/LINE等の連絡先など会員登録情報のアップデートをお願いする。 ③ そのための面白い交流会を企画する。	<興味・趣味を主体とした交流会イベントを企画> (例) 絵画展、映画鑑賞会、ピアガーデン、ワインテースティング、その他の楽しくワクワクするもの。
3	卒業後は正会員となる事を理解してもらい積極的活動参加を促す	① 3/4回生中心に、EFELと現役生との接点を作るイベント(就職活動相談会等)を行う。 ② FBへのメンバー加入を現役生に促す。	<職業別ブロックを編成> 年代・地域を超えた交流を促し、現役生にもアピールし参画を促す。 * 外大国際交流課と連携し、現役留学生(米、欧、アジア等含め) 座談会・相談会を企画。 外大におけるESS卒業生の活躍をアピールし、ESSの部員増加に寄与する。

32/47

現役ESSへの支援 外大同窓会との連携

現役生からの要望に応え、価値ある活動の推進

	イベント	内容	新規活動
1	英語弁論大会	スピーチ指導 EFEL基金からの経済的支援	① 現役生要請により、杉本さん/田坪さん、その他EFEL会員からの指導、サポートを行う。 ② 伝統ある英語弁論大会を継続させるためにEFEL基金より3万円の支援金でトロフィー&プライズを贈呈する。
2	諸活動の援助	現役生からの要望を取り入れ、EFEL会としてできる限りの援助を行う。	海外で活躍しているEFEL会員との交流会・ディスカッション・外国社会人との話し合いの場等を計画中
3	就職相談会 就職活動支援	各業界で活躍しているEFEL会員への紹介、相談会を行い、現役生の就職活動支援を更に活性化させる。	国内外で業界毎のブロックを編成、現役生が世代を問わないイージーアプローチが出来るようにする。

関西外大 同窓会との連携

関西外大同窓会のイベントと連携してEFEL会イベントを企画し、より多くの参加を呼びかける。

33/47

7) 2023-24年度活動推進、広報

丸谷活動推進、広報副部長より以下の今年度、次年度の事業予定が説明されました。

<キーワード>

興味をそそる投稿掲載拡充、世代毎・世代間の壁低く、相互コミュニケーション

	課題	改善案
1	閲覧者数の更なる増加	①地域ブロック内での諸活動の更なる見える化。 ②題材枠に捉われない投稿を募る。
2	限られた投稿者層	①世代別でのイベント機会の創出と簡易投稿の頻度増。
3	活動・投稿者数 伸び悩みによる 情報拡散力欠如	①活動参加することでの見えない潜在プレッシャーの排除。 ②SNSなど容易な相互コミュニケーション方法の充実。 ③『EFEL通信』による情報発信と諸理解促進。
4	現役生に有用な活動・メッセージ の有効発信	①就職相談領域：発信頻度を上げる。(国内外+世代間壁無し) (例)簡単な各種経験談を現役生に向け発信。

35/47

OBOG間での繋ぎ活動推進

【活動推進・広報領域】

ポイント：活動積極参加呼びかけ、OBOGにも興味を持てる内容発信

	運営・投稿・発信ポイント	推進・発信内容概要
1	職業別交流会 世代問わず	現役生に有益な内容の纏め、発信。 [職業ブロック交流会の設置] * 教員・製造・金融・運輸航空・医療(薬品) 他諸事業
2	海外活躍中 OBOG交流	現役生、OBOG間でも有益な内容纏め、発信。
3	OBOGならではの個別の活動 ピックアップ・近況など	講演会、勉強会、絵画展、コンサートなど積極発信。
4	現役生に有用な経験談発信 の為の意見交換	スピーチに加え、ディスカッション、ディベート、ドラマ、 異文化コミュニケーションなどに於けるノウハウ・体験 に関する投稿発信。

36/47

ポイント： どうすれば、現役生がEFELのHPや活動に関心を持ってくれるか？
その結果がOBOGの関心にも繋がる鍵となる。

	活動・発信ポイント	推進・投稿・発信概要
1	職業別交流会 年代問わず	現役生の参加も募る (Zoom) * 投稿・・・苦労話、成功話、How to話などの投稿 * 模擬面接機会の設定 など
2	海外活躍中 OBOGとの交流	現役生の参加も募る (Zoom) * 海外ならではの成功・失敗談、今奮闘中のことなど発信。
3	OBOGの現役生訪問の機会	無コミュニケーションでは若い層の興味・関心は引けない。 * 訪問談も発信 → 現役・OBOG相互理解促進。
4	現役生に有用な経験談	スピーチに加え、ディスカッション、ディベート、ドラマ、 異文化コミュニケーションなどに於けるノウハウ・体験など、 現役生が関心のある内容を上手く発信。

37/47

企画・総務及び活動推進・広報領域の職業別ブロック交流会の設置に関連して、柿崎さんより諸外国にも適用される米国競争法に関する説明と法令遵守の指摘があり、その上で組織運営するよう注意があった。

8) 2023 - 24年度予算計画

重成新財務会計副会長より以下の本年度、次年度の予算報告がなされました。

'23年度 年会費 及び 寄付金 予算計画 【財務会計領域】

自 2023年4月 至 2023年9月

収入の部		(金額単位：円)
科目	今年度 予算額	
会費収入	5,000	
寄付金収入	5,000	
雑収入	0	
収入の部 合計	10,000	
支出の部		
事務用品費	1,000	
交通費	5,000	
通信費	2,000	
ホームページ アップデート費	0	
Zoom費	0	
サーバ賃貸料 (2022, 2023年分)	0	
振込手数料	660	
卒業生への贈呈	0	
特別プロジェクト ESS歴代バンフ	0	
支出の部 合計	8,660	
純収支合計		
純収入	1,340	

○収入の部

- * 会費/寄付金収入：
- * 今まで予算年度末の3月目標に年会費納入PRをしてしたが、23年度は予算期間が6ヶ月なので低めに目標設定

○支出の部

- * 事務用品： コピー・印刷インク代金
- * 通信費： 書類送付代金
- * 交通費： 学生との会議 2～3回

'24年度 年会費 及び 寄付金 予算計画

【財務会計領域】

自 2023年10月 至 2024年9月

収入の部		(金額単位:円)
科目	今年度 予算額	
会費収入	50,000	
寄付金収入	50,000	
雑収入	0	
収入の部 合計	100,000	
支出の部		
事務用品費	1,000	
交通費	5,000	
通信費	2,000	
ホームページ アップデート費	0	
Zoom費	23,000	
サーバ賃貸料 (2024年分)	4,000	
振込手数料	1,320	
卒業生への贈呈	5,000	
特別プロジェクト ESS歴代パンフ	0	
支出の部 合計	41,320	
純収支合計		
純収入	58,680	

○収入の部

- *会費/寄付金収入 :
21/22年度実績をベースとして目標設定
- *対面イベント(総会/懇親会等)で積極的にPR

○支出の部

- *事務用品 : コピー・印刷インク代金
- *交通費 : 学生との会議 2~3回
- *通信費 : 書類送付代金
- *ホームページアップ費
: 活動推進・広報チーム内で対応
- *ZOOM費/HPサーバ賃貸料
: 毎年1月に年会費支払い
- *卒業生への贈呈
: 卒業生記念品贈呈援助金

特に質問はありませんでした。

9) EFEL 基金運営委員

以下の EFEL 基金の新役員の発表がなされ、参加者全員の賛同を得られました。

EFEL基金運営委員(案) (敬称略)

<2022年度>		>		<2023-24年度>	
運営委員長	水野明洋	運営委員長	水野明洋	副委員長	丸谷一也
副委員長	丸谷一也	財務部長	細川幸治	委員	遠藤秀剛
財務部長	細川幸治	委員	藤澤リ工	委員	重成美雪
委員	遠藤秀剛	委員	細川幸治	委員	与十田将也
委員	藤澤リ工	監査	杉本洋之	監査	杉本洋之
監査	杉本洋之	監査	田坪紀美	監査	田坪紀美

遠藤秀剛さん/藤澤リ工さん
運営委員として対応どうもありがとうございました!

(注) 赤字=退任、青字=新メンバー

10) 会則改定

会則が以下の通り改正提案及びその説明がなされ、参加者全員の賛同が得られました。

関西外国語大学・短期大学部 EFEL会則改定(案)

2023年8月5日

第1条 (名称)

本会は、EFEL (Everlasting Friendship through English Language)と称する。

第2条 (事務局)

本会は、事務局を会長自宅内におく。

第3条 (会員) 本会は、次の会員で組織する。

1. 正会員：関西外国語大学・短期大学部に在籍し、ESSに所属していた者。
2. 準会員：現役ESS (English Studying Society) (以下「ESS」という)メンバー (EFEL窓口担当者を含む)。

第4条 (使命並びに目的)

本会の目的並びに使命は下記の通りである。

1. 会員相互の親睦を図る。
2. 関西外大のESS旧部員としての自覚、責任、自信、経験を活かして、ESSの伝統、文化、風土を継承し、現役ESS部員の活動、発展に対し援助をする。
3. 今後の関西外大の発展に寄与する。
4. 但し、営利企業や特定の政治団体、宗教団体、反社会的勢力等への利益供与や勧誘などの諸活動、並びにこれらに類似する行為は厳にこれを慎み、個人的な営利につながる活動は一切行わない。

第5条 (活動)

本会は、前条の目的を達成するために、次の各号の活動を行う。

1. 全ての会員相互の親睦、交流を促進する活動を企画、運営する。
2. 同期会や同世代会、あるいはエリア会等の活動の組織化を促進する。
3. 会員名簿を作成する。

赤文字部分が改訂箇所
青字は先行配布版からの変更

43/47

関西外国語大学・短期大学部 EFEL会則改定(案)

4. ホームページを開設し会報等の会員情報誌(メールマガジン)を発行する。
5. ESSとの交流や後援活動を行う。但し、後援活動に関しては、ESSから要請があり、且つ役員会が必要と認めた場合にのみこれを行う。
6. その他、前条目的達成のために役員会が必要、或いは妥当と認めた活動。

第6条 (役員)

本会は、次の役員をおき役員会を構成する。役員は全て総会で選出し、その任期は2年とし再任は妨げない。欠員補充によって就任した役員の任期は、前任者の残余期間とする。役員はスムーズな業務展開を行う為、別途実行委員を任命する。実行委員の任期は2年とする、

1. 会長 1名
2. 副会長 3名 (企画総務担当、活動推進・広報担当、財務会計担当)
3. 監査役 2名

第7条 (役員の職務)

1. 会長は、本会を代表し、会務を統括する。総会および役員会の議長を務める。
2. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。
3. 副会長 (企画総務担当) は、実行委員会を組織し、本会の企画総務業務を行う。
4. 副会長 (活動推進・広報担当) は、実行委員会を組織し、本会の活動推進・広報業務を行う。
5. 副会長 (財務会計担当) は、実行委員会を組織し、本会の財務並びに会計業務を行う。
6. 監査役は、会計監査を行い総会で報告する。他、役員会に出席し、会務が適法に運営されているか監視する。上記の役職に就いている現行の役員名を別途、現行役員名簿として付与する事とする。

赤文字部分が改訂箇所

44/47

(名誉会員)

1. 本会には名誉会員として相談役、顧問を置くことができる。
2. 名誉会員は、本会の運営に貢献した者を会長が推薦、役員会で承認し総会で報告する。
3. 相談役、顧問は必要に応じ、会長が会議への出席を求めることができる。

第8条 (総会および臨時総会)

1. 総会は、原則年一回開催され、次の事項を審議し、出席者の過半数をもって議決する。可否同数の時は、議長がこれを決する。予め指定の書式をもって決議への意思表示をした者は、これを出席者とみなす。
 - (1) 役員を選出に関する事項
 - (2) 事業報告および収支決算ならびに事業計画および予算案に関する事項
 - (3) 会則の改定に関する事項
 - (4) その他、役員会が必要と認めた事項
2. 臨時総会は、役員会が必要と認めた場合にこれを開く。
3. 総会および臨時総会は、会長が招集し、議長は会長が務める。
4. 総会は、会員夫々が遠隔地に点在することにより、インターネット上での総会をもってこれに代えることができる。

第9条 (会計、会費の使用用途、および会計年度)

1. 本会の会計は、会費および寄付金その他をもって充てる。
2. 会計年度は、毎年**10月1日**に始まり翌年**9月30日**をもって終了する。
3. 会費の使用用途は、本会の目的並びに本会の目的をより良く達成するためのみに使用され、その妥当性及び千円を超える支出について、役員会で事前承認されるものとする。会計は財務会計担当実行委員に委嘱し、預金に関する代表者を副会長（財務会計担当）にする。

赤文字部分が改訂箇所

45/47

第10条 (会費)

1. 正会員は、年額1,000円の会費を納める。複数年分一括納付を妨げない。該当年の年会費最終納入日は当該**予算**年度末の**9月30日**とする。
2. 準会員は、会費を免除される。
3. 会員は、住所、氏名、E-mail アドレス、勤務先等登録内容に変更を生じた場合は、遅滞なく副会長(**企画総務担当**)宛てに届け出る。

第11条 (個人情報の利用目的)

会員から入手した個人情報は、**副会長(企画総務担当)**が責任を持って管理し、EFEL会活動においての連絡や行事の案内、質問に対する回答として、電子メールや資料の送付に利用する。個人情報は、いかなる商業団体、個人の利益のための使用を固く禁ずる。

- 付 則
- 本会則は、平成21(2009)年11月21日より施行する
 - 本会則は、平成22(2010)年11月6日に一部改正する
 - 本会則は、平成24(2014)年11月3日に一部改正する
 - 本会則は、平成28(2016)年10月29日に一部改正する
 - 本会則は、平成29(2017)年11月12日に一部改正する
 - 本会則は、平成30(2018)年10月27日に一部改正する
 - 本会則は、令和4(2022)年10月29日に一部改正する
 - 本会則は、**令和5(2023)年8月5日**に一部改正する

赤文字部分が改訂箇所

46/47

現行役員名簿 令和5(2023年)年8月5日現在

会長 :	水野 明洋
企画総務担当副会長 :	細川幸治
企画総務担当実行委員 :	与十田 将也
活動推進・広報担当副会長 :	丸谷 一也
活動推進・広報担当実行委員 :	賀儀山 泰志
財務会計担当副会長 :	重成美雪
監査役 :	杉本 洋之
監査役 :	田坪 紀美

赤文字部分が改訂箇所

47/47

6. 閉会

この議事録は、事実と相違ないことを確認します。

2023年8月5日

議長	水野明洋
議事録署名人	細川幸治
議事録署名人	与十田将也